

# 会社概要

会社名	株式会社ココペリ
所在地	東京都千代田区二番町8-3 二番町大沼ビル4階
設立	2007年6月
代表者	近藤 繁
従業員数	41名（正社員・アルバイト） *2020年10月31日時点
事業内容	■ビジネスプラットフォーム事業 ・ 中小企業向け経営支援プラットフォーム 「Big Advance」の 開発・運営 ・ AIモジュール「FAI」の開発等
主要株主	近藤繁/AT-Ⅱ投資事業有限責任組合/森垣昭/(株)東広/SV-FINTECH1号投資事業組合/FinTechビジネスイノベーション投資事業有限責任組合 等



## MISSION

企業価値の中に、未来を見つける。

## VISION

中小企業にテクノロジーを届けよう。

## VALUES

**Commit myself** 今、自分にできる最高の仕事をしよう

**Big & Speedy** 大胆な方針を立て、素早く実行しよう

**Team is Great** 一人では出来ないことを成し遂げよう

# サービス概要

## 中小企業の成長と地方創生を支援するBtoB SaaSモデル (※1)

### Big Advance (以下、「BA」)

全国の地域金融機関と協業する  
中小企業向け経営支援プラットフォーム



#### 金融機関向け

初期4~600万円/月額固定30~50万円+レベニューシェア

#### 会員企業向け

月額3,000円(税抜) (※4)

### AIモジュール「FAI」

中小企業向けに特化したAI (※2)モジュール (※3)開発



#### 金融機関・SI向け

初期200万円/月額固定40万円+2万円/登録企業数1,000社毎  
(POCの場合、1回6百万円~)

### その他：ITサポートサービス

SHARESを中心として  
中小企業・個人事業主(士業)向けにサービスを提供

注) 1. Software as a Serviceの略称。サービス提供者がソフトウェア・アプリケーションの機能をクラウド上で提供し、ユーザー側はネットワーク経由で利用する形態のサービスを指します。  
2. Artificial Intelligenceの略称であり、学習・推論・認識・判断などの人間の知的な振る舞いを行うコンピューターシステムを指します。  
3. 機能ごとに再利用可能な形でひとまとまりにしたものであり、仕様が規格化・標準化された個々の構成要素をいいます。  
4. 金融機関とのレベニューシェア方式を採用しております。

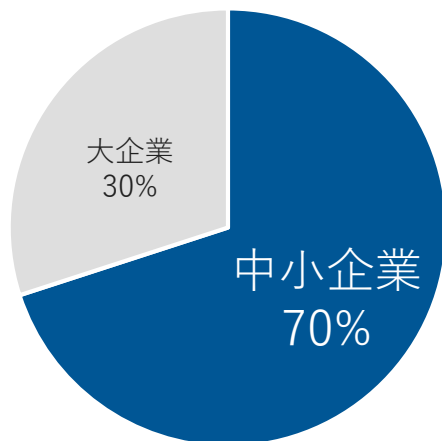
# 背景：中小企業の現状と課題

労働生産性の向上が大きな課題。10%の改善により18兆円の経済効果を創出 (※1)

## 現状

- ・ 中小企業・小規模事業者数 **358万社** (※2)
- ・ 全企業数のうち中小企業数は全体の**99.7%** (※2)
- ・ 労働市場において中小企業の従業員数は全体の**70%** (※2)

国内経済における中小企業の存在感は絶大

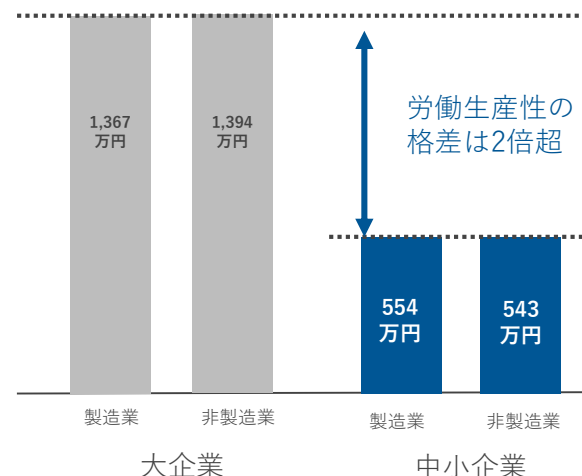


労働者のうち中小企業に占める割合

## 課題

- ・ 中小企業の労働生産性 **約549万円** (※3※4)

中小企業の労働生産性は低水準



労働生産性の比較

注) 1. 上記\*2\*3より当社算出 (中小企業の従業員総数約3,200万人×549万円×10%)  
2. 総務省・経済産業省「2016年経済センサス」  
3. 中小企業庁「2020年版中小企業白書」  
4. 554万円・543万円の平均

# 背景：地域金融機関の現状と課題

## 中小企業の本業支援等による安定収益確保、 DX (デジタルトランスフォーメーション)推進の必要性

### 現状

・ 中小企業向け貸出残高 **270兆円**

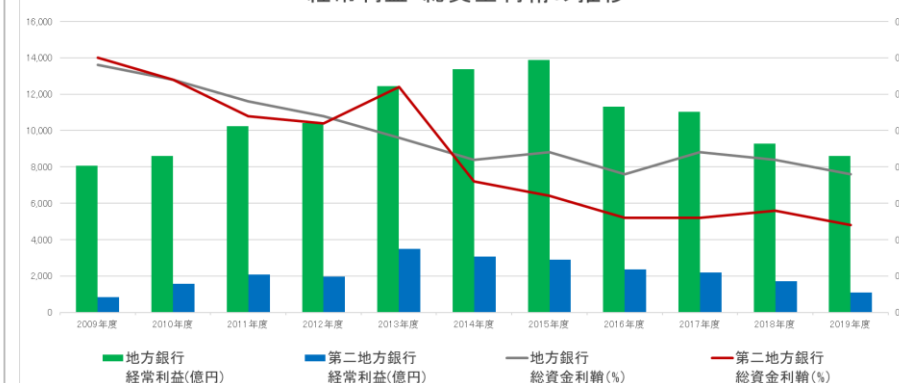
### 地域の金融インフラの中心的存在

業態	金融機関数	中小企業向け貸出残高 (※1,※2)
地方銀行	64	156兆円
第二地方銀行	38	40兆円
信用金庫	256	63兆円
信用組合	145	11兆円
<b>合計</b>	<b>503</b>	<b>270兆円</b>
メガバンク (参考)	4	119兆円

### 課題

- ・ 伸び悩む貸出による利益 (※3)
- ・ 資金需要の低迷・競争の激化・超低金利の長期化等の厳しい経営課題に直面
- ・ FinTechの進化を後押しする銀行法改正 (※4)

### 経常利益・総資金利鞘の推移



注) 1. 中小企業庁「都道府県別の中小・地域金融機関情報一覧 2019年3月末時点」より当社算出  
2. メガバンク (三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行の4行) の中小企業向け貸出残高 (2019年3月末時点) は、各銀行の開示資料より当社算出  
3. 一般社団法人全国銀行協会「2019年度決算の動向」より当社作成  
4. 2016年改正「FinTech企業への出資の容易化、仮想通貨交換業の登録制の導入等」、2018年改正「電子決済等代行業者の登録制の導入、オープンAPIの活用等」

# 「Big Advance」の概要

## 金融機関と連携して、中小企業をテクノロジーで支援する BtoB SaaSモデルの経営支援プラットフォーム



### ビジネスマッチング

地域・金融機関の枠を超えたビジネスマッチング機能



### 福利厚生「FUKURI」

会員限定のクーポンサイトを会員企業の全従業員が利用可能



### ホームページ自動作成

フォーマットに入力するだけで約15分でスマホ対応のHPを開設可能



### 補助金・助成金

全国を対象とした独自のデータベースから簡単に検索可能



### ビジネスチャット

金融機関とのやりとり、社内のやりとりを効率化



### 士業相談

全国2,000名以上（2020年9月末）の士業に24時間相談可能

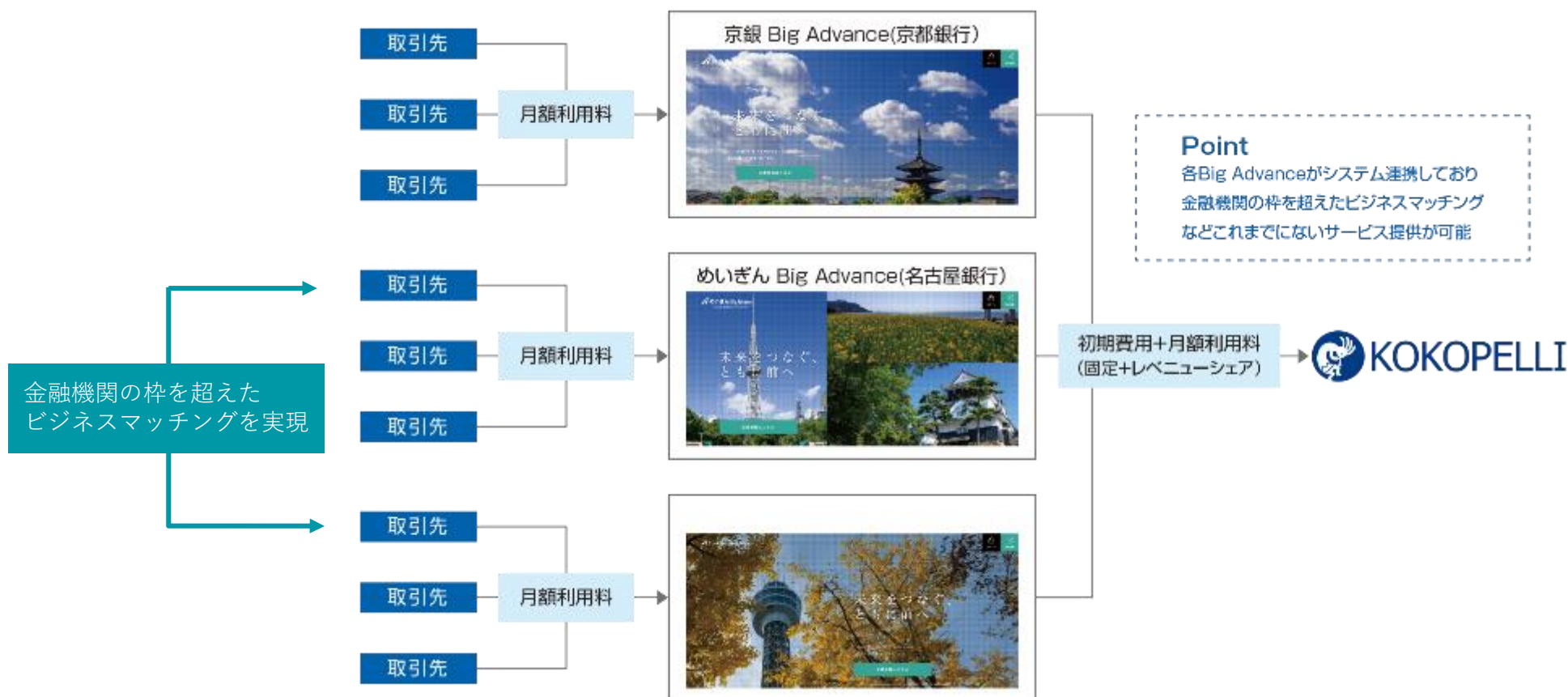


### 安否確認

災害時の安否確認・社員の状況管理が可能

# 「Big Advance」の仕組み

金融機関ごとに「〇〇 Big Advance」として中小企業へサービス提供  
地域・金融機関の枠を超えたこれまでにないサービス提供を実現



# 導入金融機関の推移

## 導入金融機関の拡大スピードはますます加速

導入金融機関数

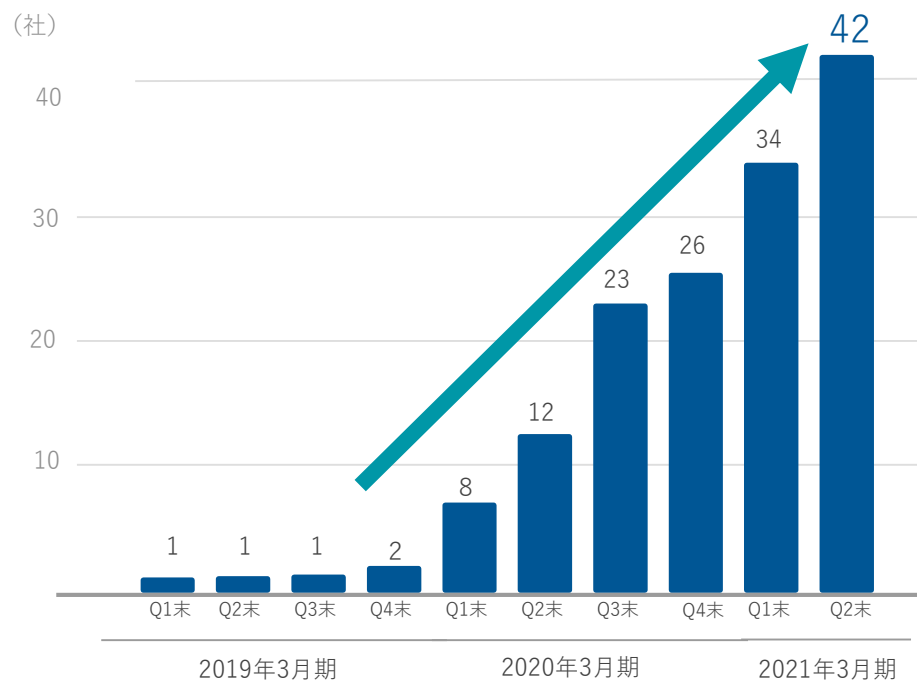
42社

導入金融機関 店舗数

2,876店舗

\*上記数値は 2020年9月末時点。特定の複数の地域金融機関より出資された事業会社1社含む

導入金融機関数推移 (社)



北海道地方



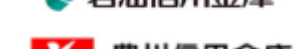
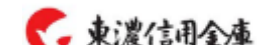
東北地方



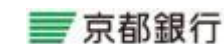
関東地方



中部地方



関西地方



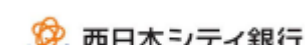
中国地方



四国地方



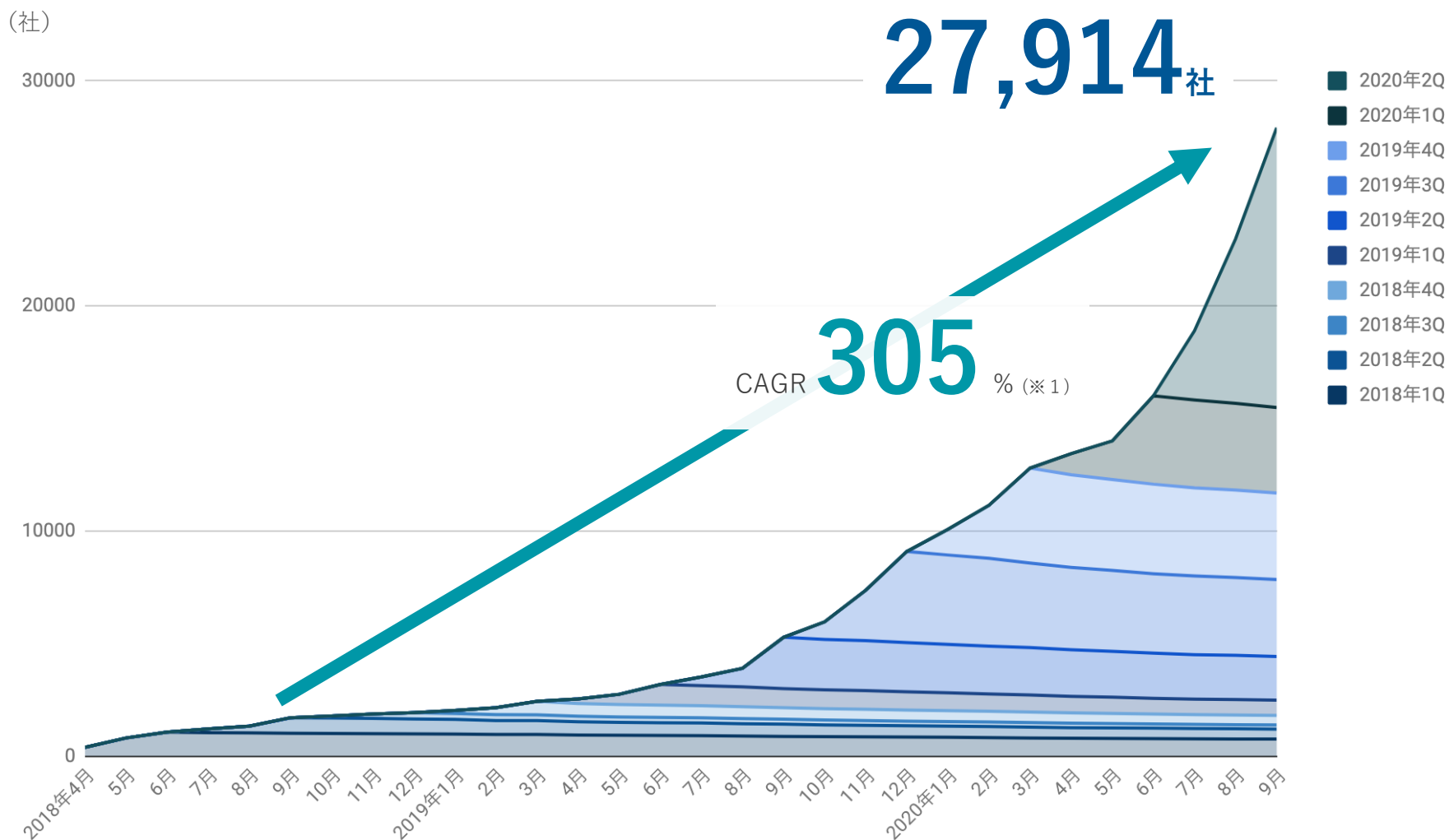
九州・沖縄地方





# 会員企業数の四半期コホート推移

## 継続利用による安定した会員基盤



注) 1. CAGR：2018年9月から2020年9月までの年平均成長率

# 中小企業のDXを支援

## 中小企業のDX化を実現する、豊富な機能と価格競争力

DX化を実施したいが  
様々な課題があり進まない…

ITが  
わからない

コストが  
かけられない

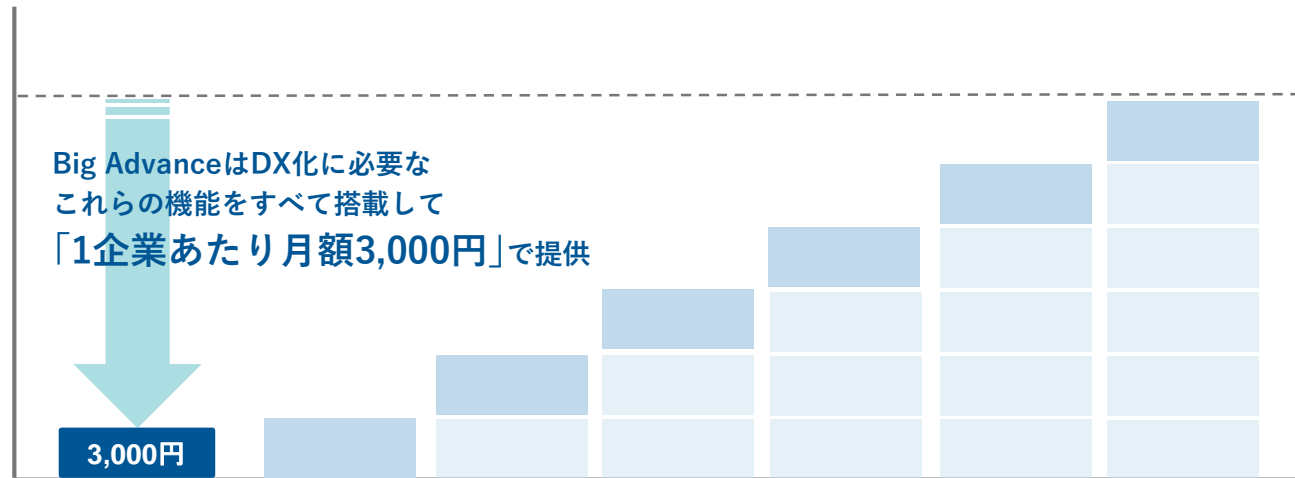
人手が  
足りない



中小企業

月額利用料金

Big AdvanceはDX化に必要な  
これらの機能をすべて搭載して  
「1企業あたり月額3,000円」で提供



Big Advance = マatchingサービス + チャットサービス + HP制作サービス + 福利厚生サービス + 士業契約サービス + 補助金情報サービス



金融機関の担当者が  
導入・活用をサポート

# 売上高及び営業利益

2020年3月期の売上高年成長率は、対前年通期売上高123.2%に拡大

2021年3月期第2四半期累計実績は、対前年通期売上高に比肩し、黒字化を達成

